

2005年9月より済生会熊本病院臨床工学部より週2日の派遣で業務を行っており、常勤の臨床工学技士は不在である。

1. ME機器中央管理業務

ME中央管理室の業務では、機器の貸出し、保守点検整備および修理を主たる業務としている。

中央管理しているME機器は、人工呼吸器5台、NPPV4台(レンタル3台)、輸液ポンプ23台、シリンジポンプ8台、経管栄養ポンプ3台、小型シリンジポンプ5台、低圧持続吸引器5台、除細動器3台、AED5台、体外式ペースメーカー2台、その他に麻酔器、電気メス、医用テレメータ、ベッドサイドモニター、自動血圧計、パルスオキシメーター、ジェットネブライザー等である。

点検件数は、885件であった(前年度1052件)。

2. 病棟機器の保守整備業務

機器の保守・調整は、中央管理機器に限らず病棟管理の物品も行っている。

(件)

機器種類	院外	院内	総計
輸液ポンプ	0	52	52
血圧計	5	12	17
パルスオキシメータ	5	5	10
シリンジポンプ	0	10	10
低圧持続吸引器	0	6	6
送信機	1	4	5
ベッドサイドモニタ	1	4	5
栄養ポンプ	0	3	3
AED	0	2	2
除細動器	0	2	2
麻酔器	0	1	1
人工呼吸器	1	0	1
NPPV	1	0	1
ジェットネブライザー	0	1	1
心電計	0	1	1
総計	14	103	117

表2. 院外修理・院内保守機器の件数 件数117件(前年度96件)

輸液・シリンジポンプは、バッテリー交換も含まれているため、件数が増加している。

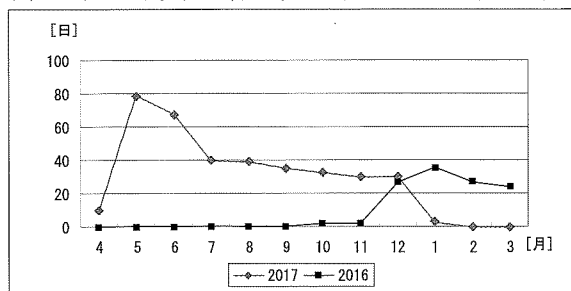
パルスオキシメーターは、修理費より安価で同性能・同耐久性の機器へ更新中である。保証期間のみ修理を依頼している。

3. 人工呼吸器業務

人工呼吸器が必要な緊急時は、機器を選定しベッドサイド配置及び呼吸器設定の補助を行っている。

定期的な回路・フィルタ交換を行っている。要望に合わせて蛇管構成の変更も行っている。需要に応じてNPPVのレンタル手配・整備を随時行っている。

図1. 人工呼吸器の稼働状況(2016・2017年度比較)

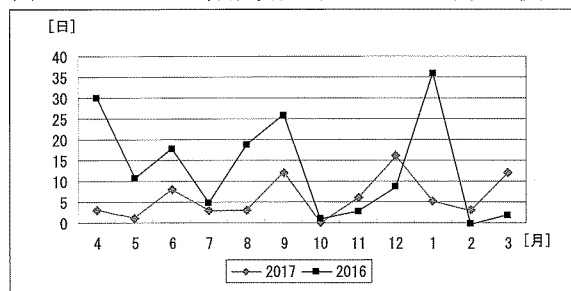


2016・2017年度の月別の稼働日数を表している。

平均稼働率19.5% (前年度6.34%)

使用日数364日 (前年度116日)

図2. NPPVの稼働状況(2016・2017年度比較)



2016・2017年度の月別の稼働日数を表している。

平均稼働率4.93% (前年度8.8%)

使用日数72日 (前年度160日)

2011年11月よりNPPVのレンタルを開始しており、1台使用する毎に予備機を追加している。

オートセットCS-A(心不全用)2台、ニップネーザルIII(呼吸不全用)1台を常備している。

NPPVの使用は、オートセットCS-AのASVモードを心不全患者に使用する機会がほとんどであった。

4. ペースメーカー業務

対外式ペースメーカーの電極挿入時にジェネレーター操作及びサポートを行っている。

5. 手術室業務

麻酔器の定期点検を行っている。

手術の補助も行っている。

6. ME教育・指導

ME機器の原理、構造、適切な使用法の勉強会を行っている。

起こりうるトラブルとその対処、安全対策等に関して随時情報提供を行っている。

トラブルの報告があった際は、迅速に対応・原因追求して返答し、その情報をME中央管理室に蓄積して、メーカーとの協議を行っている。